



日高町教育委員会で進める日高地区「新しい公共」基盤整備事業

～ 民と官の協働事業 ～



日高保育所園児らが公演「やさしい三人組」

11月9日、幼児対象演劇鑑賞事業が日高保育所遊戯室で行われました。

事業では、劇団さっぽろが、演劇「やさしい三人組」を公演。日高保育所の園児も出演しました。

会場には、保護者ら約80名が訪れ、演劇鑑賞を楽しみました。

(写真は、出演した日高保育所園児ら)



スペイン料理を一流のシェフから学ぶ

11月24日、スペイン料理教室が日高中学校家庭科室を会場に開催されました。

町内出身で、現在札幌市のスペイン料理店「バル・タベルナ・ドン・パロン」でオーナーシェフとして活躍する萩原荘介氏を講師として招き、パエリア、エビのアヒージョ、スペイン風トマトサラダの調理に挑みました。

講師のデモが始まると、参加者は熱心にメモをとったり質問をしていました。

完成後の試食では、そのおいしさに参加者皆さんが絶賛していました。



とねっこピアノコンサートVol.2「パストラル」四季に寄せて 馬に関する講演と音楽で馬文化を認識

11月23日、とねっこピアノコンサートVol.2「パストラル」四季に寄せてが、門別総合町民センターで開かれ、約300人が来場しました。

このコンサートは、「馬から学んだこと」と題した北海学園大学の古林英一教授の講演との2部構成で行われ、馬と人との関わりや馬の役割の大きさを学んだ後、幼稚園児から中学生までのピアノ教室に通う子ども達も馬に関する曲を披露しました。

また、札幌交響楽団の弦楽四重奏ノンノンマリアがすばらしい音色を披露し、子ども達とのアンサンブルも行われました。



門別スポーツリーダーズクラブの活動 ボランティア活動で地域と交流

11月20日、門別スポーツリーダーズクラブによるボランティア活動が行われました。

この日は、2グループに分かれて、住宅の清掃作業を実施。参加したメンバーは、家主との交流を計りながら窓ふき作業などに汗を流しました。

活動に参加した、同クラブ会長の堂本香澄さんは、「活動をすることで、自分たちの勉強になる。定期的に行いたい」と話していました。

また、11月5日には、クラブ活動で使用している富川青少年会館の清掃作業も行っています。



日高悠遊倶楽部による体験事業「そば打ち」に挑戦！

11月27日、日高悠遊倶楽部(藤原紘明会長)によるそば打ち体験事業が、会員32名が参加して開催されました。この体験事業は今年度通年で行う事業として開始され、6月中旬に種まき、9月下旬に収穫作業を行い、脱穀した約20キロのそば粉を使って行いました。

この日は収穫したそばを、平取そば同好会の皆さんを講師として招き、打ち方、美味しく食べるためのゆで方などの指導を受け、「新そば」の風味たっぷりの味を堪能しました。

参加者からは、「畑の畝切りから、そば打ちと食べるまでを体験した。とても楽しかった」とそばを食べながら振り返っていました。

今後も冬の行事として、町内のスキー場のほか、富良野やサホロへのスキーバスツアーなど、冬の事業も計画しています。

来年度は、田んぼオーナー事業、野菜の収穫事業、地引き網事業などを計画しています。

なお、日高悠遊倶楽部では会員を募集しています。参加したい方、詳細を聞きたい方からの連絡をお待ちしています。【連絡先:090-9081-7681(藤原)】



チーム一番星による朗読劇「いのちのいろえんぴつ」 命の尊さ、大切さ、今の幸せを再認識

11月26日、朗読塾・チーム一番星による朗読劇「いのちのいろえんぴつ」(主催:日高町・日高人権擁護委員協議会)が開催され、会場の門別総合町民センターには町内外から628名が訪れました。

チーム一番星は、道内の住職の皆さん9名で平成18年に結成され、「いのち」をテーマにした朗読劇などの活動を続けています。

「いのちのいろえんぴつ」は、脳腫瘍によって11歳で亡くなった少女の実話を基にした作品で、闘病生活の中で少女が書いた詩と絵を朗読劇として構成したものです。

命の尊さと今の幸せを再認識させられるステージに、来場者は釘付けになっていました。



道路建設・ガイアートJVが地域貢献活動 富川中学校グラウンドや排水路整備など

町内で日高自動車道の整備工事を受注している、道路建設・ガイアート経常建設共同企業体により、地域貢献活動の一環として、富川中学校グラウンドの整地・転圧作業と、周辺の排水路整備を行っていただきました。

雨水により凸凹ができたグラウンドを重機により転圧し、排水路の整備が終わると、より安全に生徒が利用できる環境となりました。